

令和2年第5回定例会一般質問通告事項

9 月 10 日	檀上正光議員（市民連合）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 感染症対策の原則は、早期発見・早期隔離・早期入院（治療）と言われている。新型コロナウイルス感染症については、今後も拡大の恐れや季節性インフルエンザとの同時流行も考えられ、検査体制を増強する必要がある。 唾液を検体とする PCR 検査が可能になり、感染リスクも低く、かかりつけ医や一般の医療機関でも比較的安全に検体採取が行われることとなったことから、広島県の PCR 検査体制はどのように拡充されたのか。拡充されていればどのように市民に周知するのか</p> <p>(2) 従来の検査に加えて、「社会的検査」の実施を広島県に求めているかどうか。例えば医療、介護、保育、教育など、人との接触が避けられない仕事の人に対して定期的な検査を可能にすることによって、施設などにおける感染爆発を防御できることになる</p> <p>(3) 「広報おのみち」では6月号にコロナ感染症対策の特集記事が記載されているが、7月、8月号には「症状や受診に関する相談窓口」いわゆるコールセンターなどのページがない、なぜか、引き続き載せるべきではないか</p> <p>(4) 災害情報やコロナ感染症情報などを発信している尾道市の公式 LINE への登録人数はコロナ感染症流行前と現在の状況はどのように変化しているのか、いっそうの拡大に向けての対策は</p> <p>(5) 厚生労働省による「新型コロナウイルス接触確認アプリ」COCOA(COVID-19)へのインストールについてはすでに7月に公式 LINE で協力をお願いをしているが引き続き勧奨してはどうか。8月7日現在全国で約1,205万件ダウンロードされているとの事</p> <p>2 空き家対策と農地付き空き家バンク制度について</p> <p>(1) 現在尾道市に於ける利活用可能な空き家件数はどのくらいか</p> <p>(2) 尾道市空き家等活用促進モデル事業について、現在までの取り組み状況と今後の事業の予定は</p> <p>(3) 農地付き空き家バンク制度の開始に至った経過と現在の利用状況は、また今後の需要見込みについて</p>	

9 月 10 日	<p>(4) 農地付き空き家バンク制度はかつてない取り組みと受け止めている。市役所内の横断的取り組みと NPO 法人や民間組織との連携に期待するが、何よりも遊休農地の解消や人口増加対策にどのように効果を出せるのか、コロナ禍をチャンスととらえて、いっそうの情報発信と所有者や希望者の理解を得るためどのように取り組むのか。</p>
-------------------	---